

事務事業調書 平成23年度	No 926	課名	社会福祉課	起案者	山口信義
事業種別	施設整備	係名	社会福祉係	決裁者	清水信行
事務事業名	地域福祉センター建設事業	区分	継続	業務一覧No	
		他係名		他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり		予算科目(会計)		一般会計	
	2 社会福祉		予算科目(款・項・目)		15-5-80	
	1 高齢者福祉		総合計画以外の計画		第5次高齢者保健福祉計画	
	4 福祉施設の整備		関連する総合計画の施策			
性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの(義務的)		法定受託事務	無		
根拠法令	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	22年目	終了	期間
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有		中学校区単位の整備することとしており、早期整備の要望あり			

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	地域の高齢者が	~になる	社会参加、生きがいつくりの拠点として利用できる。
事務事業の内容	地域における社会参加、生きがいつくりの拠点として安祥中学校区に福祉センターを整備します。平成20年度には桜井福祉センター、中部福祉センターを開設し、市内6カ所となりました。今後は安祥中学校区、明祥中学校区に福祉センターを開設し、全中学校区に開設する予定です。			
事務事業進捗状況	安祥中学校区 収用事業の事業認定を受け、3名の地権者から用地買収を行いました。また、設計業務を委託し、22年度中に完了しました。			
改善・対策の履歴	平成21年度から社会福祉課で担当			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	0	0	6,344	6,024	50,917	164,376	136,515
財源計 a	0	0	320	0	43,387	156,846	131,846
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0	28,000
	その他()	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	320	0	43,387	156,846
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費 d	0	0	6,024	6,024	7,530	7,530	4,669
内訳 従事職員数	0.00	0.00	0.80	0.80	1.00	1.00	0.62
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名 (活動内容)	建設事業費	見込(単位)	0.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	0.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	式(式)	活動の総事業費f 実績	0	5,271	163,623	
				単位コストg=f÷b 実績	0.00	5,271.00	163,623.00	
	活動②	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				
	活動③	活動名 (活動内容)		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	指標名・指標式(単位)	見込(単位)	6.00	6.00	6.00	6.00
		地域福祉センターの設置数(か所)	実績(単位)	6.00	6.00	6.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	8.00	目標達成年度		平成26年度	
	成果2	指標名・指標式(単位)	見込(単位)				
			実績(単位)				
			達成状況				
		目標成果指標値		目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	今後とも建設時には環境を配慮した設計に取り組みます。	

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	平成22年度は用地費が計上されたため、コストが上昇しました。
	成果1,2	福祉センター整備が各中学校区に整備できるよう、地域の意見・要望を取り入れたうえで整備をすすめます。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	財政状況にもよるが早期整備に努める。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	地域における社会参加、生きがいつくりの拠点として、未整備地区である安祥中学校区及び明祥中学校区の整備を進めます。また、介護予防及び環境に対する地域住民の意識向上として施設内に環境案内を掲示しながら整備を進めます。